

情景が見える

- 2012.02.21 Tuesday
- 23:44



早いものでもう2月も終わり、我が家のピアノの上はもう3月。
初節句に祖父に買ってもらい、中学2年くらいまで飾っていた6段飾りのうちのお内裏&お雛様をウン十年ぶりに出してみた。

先生が生まれたときに買ったんだよ、と言ったら
小学生がすかさず「このお人形 なんさい？」と聞いた。
人形の年を聞けば私の年がわかることを計算してる??す・するどい!
・・・ためらわず、「20歳だよ」 信じる小学1年生が愛しい(笑)

まあ、そんなことはよしとして、
今日のNHKのクローズアップ現代が興味深かった。
今話題の由紀さおりがなぜ、今世界で受け入れられるのか?
音声学や語学の研究者が語っていた。
日本語は外国語に比べ、母音が多く使われ、その母音の強弱や
抑揚を由紀さんの感性でうまく表現しているからだそう。

おまけに彼女の声の波形を調べるとフォルマント（その音を特徴付ける要素）が
一般の2倍の本数存在し、それが豊かな声につながっているそう。

それにプラスして大きな要素は言葉の向こうの情景を意識して歌っていること。
「このメロディが世界受けるのか?とか言葉が受け入れられか?」とかの
計算はなく、童謡を歌っている頃から心がけている
「日本語と向き合う」彼女の姿勢が自然と世界中で受け入れられているという結論。

「言葉と向き合う」「情景が見えるように歌う」

ひとみ先生の先日の練習がまさにそうかな・・・と思いつつ、1969を聴く。